

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	対象集合村の住民が生活向上の基礎となる知識・能力を獲得し、生活の質が改善する。
(2) 事業内容	<p><u>1) 地域学習センター（CLC）設立及び運営指導</u> 地域学習センター建物の建設は計画通り進捗している。1棟目（CLC#1）は完成し開館に向けて準備を行っている。2棟目（CLC#2）は半分以上建設作業が完了している。運営指導関連活動については、若干の遅れが生じている。住民に対するオリエンテーション（事業説明会）、センター運営委員会結成、センター職員及び委員会メンバーを対象とした他地域のセンターを視察するスタディツアーは終了したが、運営及び図書館業務に関する研修会は、マニュアル作成の遅延から開催時期が遅れる予定である。</p> <p><u>2) 識字教室を通じた基礎スキル（読み書き・計算）の提供</u> 識字教室開催の事前準備として、センター職員及び対象州・郡教育省職員を対象に、成人向け教授法の研修会を実施した。また、政府運営の識字プログラムの問題点を分析中である。成人向け読書教材の開発・出版については、専門家の指導の下、進行中であるが、若干の遅れが生じている。</p> <p><u>3) 識字後プログラムの改善、構築・拡充</u> 住民の生活向上に貢献する識字後プログラムの開発のため、住民からニーズを拾いつつ、実験的に一部のコンテンツを共同で実施した。CLC#1では、炭を利用した濾過機と、熱効率のよいかまど作り、CLC#2では、古紙や植物の繊維を利用した紙漉きによる紙作りを実演した。加えて、本プログラムで活用可能な他団体作成の教材選びも並行して実施している。</p> <p><u>4) 対象集合村にて地域学習センター（CLC）に対する認知度の向上</u> 成人教育並びにCLC推進関連活動の一環として、推進ポスターや移動図書館活動の成人向けコンテンツの開発を行っている。若干の遅れが出ているが、次半期に解消される見込みである。</p> <p><u>5) 関係局・団体・組織間のネットワーク構築</u> 関連州・郡教育局、及び他団体が開催する定期会議にセンター職員及び委員会メンバーと参加し、関連組織との関係構築を行った。</p>
(3) 達成された効果	<p><u>1) CLC委員会・職員・行政担当官を対象に、コミュニティによる運営自立化のための能力強化がされる</u></p> <p>【指標】（ア）委員会が独自に運営費用を調達できるようになる（教育省負担分の「センター所長給与」と「識字教室運営費」（識字教師給与と生徒の文具費）を除く） 1年目：30%</p>

	<p>【現状】センター未開館のため、現時点で測定不可</p> <p>【指標】(イ) 委員会が独自に地域からニーズを拾い活動に反映できるようにする 1年目：当会職員同伴で、月例会議を定期的実施している</p> <p>【現状】現在のところ上記条件の下では達成している</p> <p>【指標】(ウ) センター業務・活動が計画の8割以上実施できるようになる 1年目：計画時から当会職員の指導付で8割以上実施している</p> <p>【現状】センター未開館のため、現時点で測定不可</p>
	<p><u>2) 識字教室を通して、対象集合村の貧困世帯が基礎スキル（読み書き・計算）を習得する</u></p> <p>【指標】(ア) 教育省の識字能力試験に受講者の8割が合格できている。 1年目：6割</p> <p>【現状】次半期予定活動のため未定</p>
	<p><u>3) 対象集合村の貧困世帯が生活改善ための知識を習得する</u></p> <p>【指標】(ア) 講義参加者の8割が、習得した知識・技術を生活改善に活用している（インタビュー形式で図る） 1年目：6割</p> <p>【現状】次半期予定活動のため未定</p>
	<p><u>4) 対象集合村にて地域学習センター（CLC）に対する認知度が向上する</u></p> <p>【指標】(ア) 対象集合村の住民の5割がセンターの役割及び活動を認知している 1年目：3割</p> <p>【現状】現時点で未測定のため不明</p>
	<p><u>5) 当会支援CLCと外部CLC、その他関係機関との間にネットワークが構築されている</u></p> <p>【指標】(ア) 関係機関等との定例ネットワーク会議が開催される（管轄州CLC年次ネットワーク会議） 1年目：当会職員指導付きで開催する</p> <p>【現状】次半期予定活動のため未定</p> <p>【指標】(イ) 関係機関等との定例ネットワーク会議に、当会CLC委員会・職員が参加している（管轄郡教育局月例会議、ユネスコ開催年次会議、日本ユネスコ協会開催隔月・年次会議） 1年目：当会職員同伴で参加する</p> <p>【現状】現在のところ上記条件の下では達成している</p>

<p>(4) 今後の見通し</p>	<p><u>1) 地域学習センター（CLC）設立及び運営指導</u> CLC#1は備品・図書等の搬入と並行して、運営及び図書館業務に関する研修会を通して、センター職員・委員会の能力強化を実施する。開館後は、センターの日々の活動の定期モニタリングを通して、地域住民による自立運営のフォローアップを行う。CLC#2もセンター完成後、同様のプロセスを経る。</p> <p><u>2) 識字教室を通じた基礎スキル（読み書き・計算）の提供</u> 教育省の方針転換により、今年度内の教育省運営による識字教室の開催は困難となった。代替案として、未識字者や低識字者に対して読み書き・計算への興味を喚起し、来年の教室参加につなげる準備コースをセンター活動の一環として開催する。引き続き、定例活動の定期モニタリングを通して、識字教室のカリキュラム、教科書、教授方法の改善を教育省との協議の下進めていく。</p> <p><u>3) 識字後プログラムの改善、構築・拡充</u> センター開館後、識字後プログラムの一環として、生活向上を目的とした体験講座を開催する。定例活動のモニタリングを通して、この講座開催をフォローアップしていく。また、識字後プログラムの新たなコンテンツの開発を続ける。</p> <p><u>4) 対象集合村にて地域学習センター（CLC）に対する認知度の向上</u> 推進ポスターや移動図書館活動の成人向けコンテンツの開発を完了させ、成人教育並びにCLC推進のため定期モニタリングの際に、センターから離れた対象地域を周る移動図書館活動を実施する。</p> <p><u>5) 関係局・団体・組織間のネットワーク構築</u> 引き続き、関連州・郡教育局、及び他団体が開催する定期会議にセンター職員及び委員会メンバーと参加し、関連組織との関係構築を行う。また、対象州教育局による年次ネットワーク会議開催の支援を行う。</p>
-------------------	---